

はじめまして、末原義之と申します。私は整形外科専門医として20年間、様々な専門施設で医療に従事し、ご縁により整形外科、再生医療、リハビリ、スポーツ、骨軟部腫瘍など幅広い分野が専門となりました。特に再生医療は、黎明期からその可能性に注目し、専門の一つとして深く関わってまいりました。これまでの再生医療の経験は、順天堂大学や再生医療専門施設など（詳細下記）。

- ひびぎ再生医療のトップランナー、順天堂大学・関連機関での研鑽（准教授、客員教授）
- 再生医療のハイボリュームセンター、東京ひびぎ関節症クリニックにも招聘（非常勤医師）
- かものみや整形外科・SOL世田谷整形外科などにて再生医療外来を設立

これまでに幸いにも3000件を超える再生医療に携わり、様々な手法で良好な治療成績を目指し、多くの感謝の声を頂いております（2024年現在）。当施設では、この豊富な経験を活かし、各医療施設の優れた点を取り入れながら、患者様とのコミュニケーションを大切に、再生医療による医療貢献を目指しています。

また、一般整形外科においても数千件の手術を担当し、様々な部位に対する治療に従事、大学教員や専門機関での職務経験も長く、若手医師の育成にも注力しております。

経歴

2000年 順天堂大学医学部医学科 卒業、順天堂大学整形外科教室 入局、以後、基幹・専門病院にて整形外科・リハビリテーション・救急医療を研鑽

2004年 国立がん研究センター研究所・中央病院

2007年 学位授与（医学博士）、整形外科専門医取得

2010年-2013年 アメリカ ニューヨーク市の専門病院に国費留学

2014年-2021年 順天堂大学医学部整形外科学講座 准教授

2021年- 順天堂大学医学部整形外科学講座 客員教授に就任（現在に至る）

現在、順天堂大学医学部 整形外科学講座 客員教授 / 国立研究開発法人科学技術振興機構 創発的研究支援事業 研究代表者などとして、多岐にわたる整形外科領域の診療・研究・教育を推進しています。また、最大の関心の一つである膝の再生医療にも注力し、上石神井ひびぎ再生医療センターなどを通じて、地域の運動器医療に貢献しています。

資格

医師、医学博士

日本整形外科学会整形外科 専門医・指導医、
認定リハビリテーション医、認定スポーツ医、

認定骨軟部腫瘍医、認定ロコモアドバイザー、

日本がん治療認定医機構がん治療認定医、臨床研修医指導医、
義肢装具等適合判定医師、難病指定医 など



担当医 末原 義之

学会受賞、学術活動、所属学会 など

日本医師会医学研究奨励賞、整形災害外科学研究助成財団奨励賞、日本癌治療学会最優秀演題賞、日本癌治療学会優秀演題賞、CTOS Young Investigator Award、順天堂大学整形外科同門会奨励賞・ベストペーパー賞 など
日本整形外科学会、日本再生医療学会、日本癌治療学会、日本癌学会、日本医師会、その他欧米整形外科学会・癌学会など
日本学術振興会 海外特別研究員（米国 2010年から）、日本学術振興会 国際共同研究加速基金派遣者（米国 2017年から）、
国立研究開発法人科学技術振興機構 創発的研究支援事業 研究代表者（整形外科・遺伝子医療分野 2021年から） など